

家庭数配付

学校教育目標 ～「まち」とともに歩み、ともに学び自立できる子どもをめざします～

	<p>横浜市立大曾根小学校</p> <p>学校だより </p>	<p>令和2年1月25日</p> <p>TEL 542-1785</p> <p>FAX 541-0949</p>
---	--	--

言葉の力

副校長 中里 充

「ありがとう!」、「上手だよ」、「頑張っているね」、「すごいね!」、「大丈夫だよ」・・・。なんだか心が温まる、そして力が湧いてくる言葉です。このような、言われるとうれしくなる言葉が、児童の間でたくさん交わされました。

『スマイル スマイル 大曾根小』は、今年度の児童会テーマです。昨年の11月の代表委員会で「自分や友達のいいところをたくさんみつける方法を決めよう」という議題で話し合いました。そして12月には学校全体でスマイルを増やそうと取り組みました。友達のいいところをみつけたら2枚の葉っぱにそのことを書きます。1枚は大曾根スマイルの木に貼り、もう1枚はその友達に伝えて渡します。

「笑顔でやさしいね」、「いつも笑顔だね」、「いつも遊んでくれてありがとう」、「さそってくれてありがとう」、「元気でがんばり屋だね」、「足が速いね」、「掃除をすみずみまでやってるね」、「困っているときに助けてくれてありがとう」

枝だけだった木に葉っぱがどんどん増えて、素敵なスマイルの木になりました。その一つひとつを読んでいくと、子ども同士が相手の良さをよく見ていることがわかります。そして相手に葉っぱを渡している様子を想像すると、心がほっこりします。



互いに認め合う取組は、普段の教育活動の中でも行われています。特別活動等の授業や帰りの会で、頑張った人を発表したり感謝を述べたりします。子どもは、自分の良さや頑張りを実際に言葉にして認めてもらえることで、とてもうれしい気持ちになります。更に前向きに取り組む意欲にもつながります。

言葉には人を笑顔にしたり癒したりするだけでなく、時には人を傷つける力もあります。私は、今回の取組のように『スマイル』を増やす言葉がたくさん、そして自然に交わされる学校にしたいなあと思います。

もうすぐ『ありがとう月間（個人的に名付けています）の二か月』がスタートします。下級生からは、委員会やクラブ、たてわり活動などでリーダーとして頑張った6年生へ、『ありがとう』と『おめでとう』の気持ちを表すための活動が始まります。6年生は、自分の成長の喜びと共に保護者や地域、学校に『ありがとう』の思いを示す活動に取り組みます。残り二か月、教職員一同『ありがとう』の言葉の力が十分発揮されるよう取り組んでいきます。これからも本校の教育活動に、ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。